



「わかる!」「できる!」を支える 法中 UD (ユニバーサル・デザイン)

すべての生徒が学ぶ喜びを感じ、一人一人の主体的な学びにつながるように、本校はユニバーサル・デザインの視点を生かした支援を心掛けています。今回は「授業作り」「教室・掲示環境」「人的環境(接し方)」について紹介いたします。様々な観点に思いを巡らせ、充実した指導・支援を継続している様子です。(一例)

授業作りの工夫



接し方の工夫



教室環境の工夫

1	自立	
2	自立	
3	社会	かじり山 先生
4	理科	たなか長尾 先生
5	国語	野口菜穂子 先生
6	学活	

授業ごとに色を変え、くっきりわかる黒字でわかりやすく!!

学校掲示の工夫



階段のおどろき場は本が手にとりやすいです。

“仕合わせ”の糸を紡ぎましょう!



「縦の糸はあなた、横の糸はわたし・・・」

中島みゆきさんの代表曲『糸』のサビの部分の歌詞は、多くの方がご存知ではないでしょうか。さて、こと教育の現場において、縦の糸が親だとするならば横の糸は学校ということなのでしょう。でも、より強固な布にするには斜めの糸も必要だと思われます。その斜めの糸こそ「地域の力」に他なりません。中島みゆき『糸』のラストはこんな歌詞で閉じられています。「会うべき糸に出会えることを人は仕合わせとよびます。」幸せでなくて仕合わせ。巡り合わせのことですね。親・学校・地域がこの時代に巡り合うのも何かの縁。みんなで法中校区の教育がんばりましょう!



熱い大人 列伝その3

「NPO 法人なんぶ里山デザイン機構」で仕事コンビニを担当されている森田さんと安田さんです。給食コンテナ業務を中心に力を貸していただき、教職員の働き方改革が一步も二歩も前進しました。本校の教育を語るよきパートナーです。



じわじわくる看板



「車がい!とはなんのこっちゃ?」と思いましたが、近づいてみると秘密がわかりました。(鳥取県中部)

生徒の名言

A さん:ところでさ、あと2ヶ月でやってくるワクワクするイベントあるよねー!?

B さん:そりゃ、パリオリンピックでしょ? ・ ・ A さん:夏休みだよ!!(笑) ・ ・ B さん:どひゃー!

7/1 上海市の 中学生が 法中を訪問!

この度、上海市から修学旅行で訪日される一行が、本校に訪問されることが決定いたしました。鳥取県の多くの中学校の中から、交流先として本校を指名していただけたことは、コロナ禍の時代は考えられなかった国際理解交流のよい機会になると考えています。教育課程や給食、部活動や休憩時間の過ごし方等に関心が高いと聞いていますので、ぜひ互いの日常を語り合える時間になりたいと考えています。



- 目的 ・国際理解交流を通じて自他を尊重する心を育てる。
・実践的コミュニケーション能力の向上を図る。
- 期日 **令和6年7月1日(月)** 9:45~12:20 (2限~4限)
- 交流場所 ・本校体育館・各教室他
- 来校人数 ・生徒 55名 教員等引率 5名

交流としては、授業見学や折り紙づくりを計画中です。先生がメインとなり交流しますが、1.2年生には歓迎時のメッセージボードなどの作成をお願いしたいです。一期一会の貴重な機会なので、みなさんアイデアを出してください。…地域の皆様もぜひおしください。



校長、道徳の授業を受ける!

★5月22日(水)の一時限目は、全校一斉道徳の時間でした。通常は担任が指導しますが、この日は全教職員がローテーションし、いつもと違う教師が授業を行う日でした。写真は3年A組で足立教諭が「自分を受け入れる」をテーマに据えて、自尊心について指導しているところです。
★私も生徒たちと協議し自分の意見を語りましたが、自分のいいところを自分自身の口で語ることは難しいと再認識できました。自分を受け入れることに私自身も再挑戦です。



スポーツが下手な自分を認めるとも大事だと思いつ

害虫の「命」について考えた日



★「先生大変です。美術室にでかい蜂が入ってきて・・・」生徒が言い終わらないうちに駆除スプレーと虫取り網をもって駆け付ける。できれば虫の命までは奪いたくない。害虫というネーミングは人間が考えただけで彼らは彼らのなわばりの範疇で自然界を精一杯生き抜いているのだから・・・とはいうものの、到着してわかった。体長が10cm近くのオオスズメバチである。すでに興奮状態で羽音が激しく、生徒が刺されたら大変危険である。躊躇なくスプレーを噴射していた。歓声。拍手。ざわめき・・・でも。なんとなくモヤモヤした気持ちが残った。(SUMAN・・・KANBENSITEKURE・・・) 玄関前に一輪挿しの墓を作り合掌した初夏の出来事。

生徒の名言

(玄関でせくすいたヒナを見かけた) どうしてカラスはツバメを攻撃するのかなあ... ヒナがかかっちゃう... でもカラスも生きるとためにやってるのかなあ... じゃあ、人間はどうかばいいの?

